

会議の開催状況(前半)

No.1	平成13年度 第1回 成果育成活用促進会議
開催日時:平成13年10月9日	
開催場所:オリエントホテル高知 高知市内	
出席者: ①委員・・・高知工科大学学長岡村甫、高知大学学長山本晋平、高知医科大学学長池田久男、高知女子大学学長成田十次郎、高知工業高等専門学校校長中井貞雄、高知県産業技術委員会委員長上野和夫、高知商工会議所副会頭横田善治、土佐経済同友会代表幹事関裕司、高知県機械工業会理事長山中紀雄、高村宣生、鈴木朝夫 ②オブザーバー、事務局・・・JST 斎藤太一、高知県北添英矩、松岡さゆり、紀伊隆広、山崎隆章、笹部馨、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史(敬称略) <次回より役職名を省略>	
議題:(1)事業の主旨、制度について(2)平成13年度高知県RSP事業について(3)産学連携協議会の発足その他(議事進行は岡村甫議長による)	
結論:(1)今回が初回につき科学技術振興事業団斎藤太一様よりRSP事業の主旨、制度について説明を頂き、続いて本会議の役割を代表が説明した。RSP事業の運営について大学等との連携方策、育成試験候補テーマの検討を含む研究成果育成計画等の重要事項の審議をお願いした。本会議を補完するため産学連携協議会を設置し、連携して力強く推進するとの申し合わせが行われた。(2)続いて、次年度育成試験候補テーマ内容を分野別に科学技術コーディネータが説明し審議された。育成試験の予算配分はテーマ別の内容に応じたメリハリがあってもよいとの意見などが出された。(3)最後に当会議設置要綱 第2条第4項の規定により下部機関に産学連携協議会が設置された。	

No.2	平成13年度 第1回 産学連携協議会
開催日時:平成13年11月20日	
開催場所:オリエントホテル高知 高知市内	
出席者: ①委員・・・高知工科大学連携研究センター長・平木昭夫、高知大学地域共同研究センター長・阿万智治、高知大学農学部長・堀池道郎、高知医科大学附属実験実習機器センター長・富永明、高知女子大学生生活科学部長・寺内アヤ子、高知工業高等専門学校研究推進室長・戸部広康、高知県工業技術センター所長・上野和夫、高知県海洋深層水研究所長・谷口道子、高知県産業技術委員会事務局長・田中拓美、高知県商工労働部副部長・北添英矩、(財)高知県産業振興センタープロジェクトマネージャー・鈴木朝夫、同センター専務理事・山崎隆章、同センターRSP事業推進室代表科学技術コーディネータ・笹部馨 ②オブザーバー、事務局・・・高知県商工労働部新産業推進室室長・松岡さゆり、同推進室主幹・紀伊隆広、(財)高知県産業振興センター理事長・高村宣生、同センターRSP事業推進室科学技術コーディネータ・都築俊夫、同推進室科学技術コーディネータ・久武陸夫、同推進室科学技術コーディネータ・石塚悟史(敬称略) <次回より役職名を省略>	
議題:(1)RSP事業と「産学連携協議会」の役割について (2)平成13年度事業についてその他(議事進行は平木昭夫委員長による)	
結論:(1)平成13年度成果育成活用促進会議において、産学連携協議会の設置が決定したことを代表コーディネータが説明。協議会は大学等の研究シーズ、企業側の開発要望の調査に協力し、育成試験の採択評価や結果の評価に協力すること等をお願いした。(2)成果育成活用促進会議において審議・了承された本年度育成試験10テーマについて、重点技術分野別、大学別、育成試験の予定期間、次に繋ぐ予定の事業団事業等のマップを代表コーディネータが説明し、テーマ毎に科学技術コーディネータが概要を報告した。	

No.3 平成13年度 第2回 産学連携協議会
開催日時:平成14年3月5日
開催場所:オリエントホテル高知 高知市内
出席者: ①委員…平木昭夫(委員長)、阿万智治、堀池道郎、富永明、寺内アヤ子、戸部広康、上野和夫、谷口道子、鈴木朝夫、山崎隆章、笹部馨 ②オブザーバー、事務局…JST武田正之、高村宣生、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史 ③育成試験担当者…内田昌克、畠中兼司、今井一雅、柳澤和道、大野正夫、北村有里、横川明、向畑恭男(敬称及び役職名略)
議題:(1)平成13年度RSP事業の活動状況について(2)平成13年度「育成試験」結果の報告(3)平成14年度事業についてその他(議事進行は平木昭夫委員長による)
結論:(1)平成13年度RSP活動状況について、代表コーディネータより報告した。育成試験の成果、大学等の研究成果情報調査とそのデータベース・システムの構築状況、次年度向けの育成し研候補の絞り込み、研究会の開催報告等である。(2)育成試験代表者が研究成果10課題を順次報告した。(3)平成14年度事業計画は、大学等との連携の強化、訪問活動、企業アンケート調査、技術分野別研究会、シーズ説明会、技術フォーラム、各種産学官連携による諸事業の橋渡し支援等を行う旨を代表が説明した。平成14年度育成試験候補課題として本委員会で20課題を推薦頂いた。この結果を後の成果育成活用促進会議に諮ることとなった。

No.4 平成13年度 第2回 成果育成活用促進会議
開催日時:平成14年3月13日
開催場所:オリエントホテル高知 高知市内
出席者: ①委員…岡村甫(議長)、山本晋平、中井貞雄、上野和夫、横田善治、関裕司、山中紀雄、高村宣生、鈴木朝夫 ②オブザーバー、事務局…JST武田正之、〃 斎藤太一、北添英矩、松岡さゆり、紀伊隆広、山崎隆章、笹部馨、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史(敬称及び役職名略) ③育成試験担当者…平木昭夫、内田昌克、畠中兼司、今井一雅、柳澤和道、大野正夫、谷口道子、富永明、北村有里、横川明、向畑恭男
議題:(1)平成13年度RSP事業の活動報告(2)平成13年度「育成試験」結果の報告(3)平成14年度RSP事業計画その他(議事進行は岡村甫議長による)
結論:(1)平成14年度RSP事業計画、大学等との連携強化、研究成果調査活動、企業アンケート調査、研究シーズ説明会、技術フォーラムその他各種産学官連携事業への橋渡し支援について、代表コーディネータが説明し委員のご協力を頂けることとなった。(2)平成13年度「育成試験」結果の報告を、各育成試験担当者が今後の補助事業への橋渡しや技術移転を行う意気込みを込めて結果発表があった。(3)平成14年度育成試験課題については、3月5日に開催した産学連携協議会でコーディネータが提示した41課題から産学連携委員が22課題に絞り、この会議で12課題が選択された。この結果を含む平成14年度事業計画案をJSTに提出する。平成13年度育成試験10課題の成果、大学等研究成果の調査、データベースの構築状況、橋渡し状況、研究会の開催等について報告した。

No.5 平成14年度 第1回 産学連携協議会
開催日時:平成14年6月4日
開催場所:オリエントホテル高知 高知市内
出席者: ①委員…平木昭夫(委員長)、阿万智治、堀池道郎、宇野浩三、戸部広康、上野和夫、山中弘雄、山崎義文、山崎隆章、笹部馨 ②オブザーバー、事務局…JST斎藤太一、松岡さゆり、紀伊隆広、高村宣生、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史 ③育成試験担当者…永田信治、王碩玉、南一郎、横川明、柳澤和道、今井一雅、畠中兼司、河東田隆、岩田誠、越智雅光、北村有里、沢村正義(敬称及び役職名略)

議題: (1)平成 13 年度事業成果の報告(2)平成 14 年度事業についてその他
結論: (1)平成 13 年度RSP事業の結果について代表が報告し了承された。即ち大学との連携状況、研究成果の一次と二次情報データベースの構築、育成成果の橋渡し状況及び企業向けに「平成 13 年度育成試験成果集全3冊」を編纂発行したこと等である。(2)続いて平成 14 年度事業計画について説明した。先ず、平成 14 年度に実施するRSP育成試験の課題選定を前回3月の当委員会で絞り込みを頂き、その後、成果育成会議で12候補課題が決定され、JSTの内諾を得たことその他、大学等の研究者、研究内容、研究成果の調査を引き続き行うこと、新技術フェア等を開催して平成 13 年度の育成試験の成果を企業にPRしコーディネートすること、企業アンケート調査、分析を行い、企業ニーズを収集すること等を代表が説明した。平成 14 年度育成試験 12 課題を各担当者が説明し、決意表明して各委員のご理解を頂くとともに、将来の事業化への協力をお願いした。

No.6 平成 14 年度 第 1 回 成果育成活用促進会議
開催日時:平成 14 年 6 月 11 日
開催場所:オリエントホテル高知 高知市内
出席者: ①委員・・・岡村甫(議長)、成田十次郎、中井貞雄、北添英矩、上野和夫、関裕司、高村宣生 ②オブザーバー、事務局・・・JST森崎勝義、松岡さゆり、紀伊隆広、山崎隆章、笹部馨、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史(敬称及び役職名略)
議題: (1)平成 13 年度事業成果の報告 (2)平成 14 年度事業についてその他
結論: (1)平成 13 年度高知県RSP事業成果について、代表コーディネータより、大学との連携、研究成果の調査と一次情報と二次情報の整理、研究成果の育成と事業団事業等への橋渡し状況等を報告した。平成 13 年度育成試験成果を「H13 年度育成試験成果集」3 分冊に編集発行し事業化への橋渡しに使用する説明を行い配布した。(2)次に、平成 14 年度RSP事業計画の説明に先だって、前回の会議で平成 14 年度育成試験 12 課題を選定頂いたことに感謝を申し上げ、事業計画の説明を行った。即ち、大学等の研究成果の調査、育成試験の成果のPRとコーディネート、企業ニーズの収集を実施する旨を代表科学技術コーディネータが説明した。続いて、前回の成果育成促進回議で選定した平成 14 年度育成試験 12 件を各コーディネータが育成試験担当者に代わり要点を説明し、事業化へのご協力をお願いした。

No.7 平成 14 年度 第 2 回 産学連携協議会
開催日時:平成 15 年 3 月 11 日
開催場所:オリエントホテル高知 高知市内
出席者: ①委員・・・平木昭夫(委員長)、堀池道郎、富永明、宇野浩三、上野和夫、山中弘雄、山崎義文、北添英矩、山崎隆章、笹部馨 ②オブザーバー、事務局・・・松岡さゆり、紀伊隆広、高村宣生、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史 ③育成試験担当者・・・永田信治、王碩玉、南一郎、横川明、柳澤和道、今井一雅、畠中兼司、河東田隆、岩田誠、越智雅光、大野正夫、北村有里、沢村正義(敬称及び役職名略)
議題: (1)平成 14 年度RSP事業の活動状況について(2)平成 15 年度事業計画案その他
結論: (1)平成 14 年度RSP事業について代表コーディネータが、育成試験の成果(特許出願、開発補助事業への橋渡しなど)、大学等の研究成果情報調査とそのシーズ・データベースの構築状況、企業情報・新技術ニーズの調査とニーズ・データベースの構築、次年度育成試験候補の絞り込み、産学交流サロンの実施、「新技術説明会」による企業向け報告会の実施などを報告し了解された。続いて平成 14 年度年度に実施した育成試験 12 課題の成果を、育成試験担当者が報告した。事業化に向けて力強く推進することを決意表明し、引き続き特許出願、技術移転等への努力を継続する。(2)次に平成 15 年度育成試験課題については候補テーマ 72 件から、コーディネータが独創性(特許性)、事業化の可能性等の観点から 28 件まで絞り、本委員会により 15~16 課題をご抽出頂いた。

No.8 平成 14 年度 第 2 回 成果育成活用促進会議
開催日時:平成 15 年 3 月 25 日
開催場所:オリエントホテル高知 高知市内
出席者: ①委員…岡村甫(議長)、山本晋平、横田善治、関裕司、高村宣生、鈴木朝夫、北添英矩、松岡さゆり、紀伊隆広、山崎隆章、笹部馨 ②オブザーバー、事務局…都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史(敬称等略)
議題:(1)平成 14 年度RSP事業の活動状況について(2)平成15年度事業計画案 その他
結論:(1)平成 14 年度RSP事業の活動について、育成試験した海洋深層水によるアオノリの生産が水産庁沿岸整備事業への橋渡しを筆頭に 12 件を説明した。また大学等の研究成果の収納データベースの構築、企業情報の調査とニーズ・データベースの構築および全国向け新技術フォーラムの開催等を報告し了解された。(2)次に平成 15 年度事業について、大学等との連携、研究成果調査、産学交流サロンによる大学の研究説明会、新技術フォーラム等を強力に行う旨を代表科学技術コーディネータが説明した。最後に産学連携協議会委員の検討により抽出した 15 候補課題の内容をコーディネータが説明し、委員の投票により育成候補 12 課題が選択された。

No.9 平成 15 年度 第 1 回 産学連携協議会
開催日時:平成 15 年 6 月 10 日
開催場所:山内会館 高知市内
出席者: ①委員…平木昭夫(委員長)、阿万智治、富永明、宇野浩三、柏原俊規、三木啓司、田村光政、林幸男、山崎義文、北添英矩、山崎隆章、笹部馨 ②オブザーバー、事務局…岡村雅司、松村晃充、高村宣生、松岡さゆり、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史(敬称及び役職名略)
議題:(1)平成 14 年度事業成果の報告(2)平成 15 年度事業についてその他
結論:(1)平成 14 年度RSP事業成果について、育成試験成果のJST事業等への橋渡し、研究成果の調査と一次、二次情報の整理、企業ニーズ調査等を代表が報告し了解された。平成 14 年度育成試験公開成果集3冊を委員に配布した。(2)次に 15 年度事業計画を昨年同様に行い、平成 14 年度成果を新技術フォーラムとして企業にPRする。10 件以上の育成試験を実施する旨を説明した。続いて、平成 15 年度育成試験について、本委員会での課題抽出に感謝し、決定した 12 課題をコーディネータがその内容を説明した。

No.10 平成 15 年度 第 1 回 成果育成活用促進会議
開催日時:平成 15 年 6 月 17 日
開催場所:山内会館 高知市内
出席者: ①委員…岡村甫(議長)、JST山名芳隆、岡村甫、青山英康、中井貞雄、北添英矩、横田善治、関裕司、鈴木康夫、高村宣生、鈴木朝夫 ②オブザーバー、事務局…岡村雅司、松村晃充、松岡さゆり、笹部馨、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史 ③育成試験担当者…竹田史章、山本哲也、岸本誠一、金哲史、八田章光、井上喜雄、赤松重則、永田信治、谷俊一、田村愛理、大濱武、沢村正義、佐藤之紀(敬称及び役職名略)
議題:(1)平成 14 年度事業成果の報告(2)平成 15 年度事業についてその他
結論:(1)平成 14 年度RSP事業成果について代表コーディネータよりJST事業等への橋渡し、研究成果の調査と一次、二次情報の整理、企業ニーズ調査等を報告し了解された。平成 14 年度育成試験の成果を、成果集 3 冊を配布した。(2)平成 15 年度RSP事業について、大学等の研究成果の調査、産学交流サロンの開催、育成試験の実施などを説明した。続いて、平成 15 年度育成試験 12 件について、各育成試験代表から直接説明して頂き質疑応答を頂いた。

会議の開催状況(後半)

No.11	H15年度 平成15年度 第2回 産学連携協議会議
開催時期:平成16年3月4日	
開催場所:高知市 オリентホテル高知 (高知市内)	
出席者: ①委員…平木昭夫(委員長)、阿万智治、金川 靖、宇野浩三、柏原俊規、田村光正、林 幸男、山崎義文、北添英矩、鈴木朝夫、田中拓美、笹部 馨 ②オブザーバー、事務局…JST 山名芳隆、松村晃充、高村宣生、松岡さゆり(司会)、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史 ③育成試験担当者…竹内彰敏、蝶野成臣、松崎茂展、武市 統、森澤 純、堀邊英夫、大島俊一郎、後藤昌弘、豊永昌彦、金 哲史、受田浩之、康 峪梅、山本哲也、野中弘二、野村 弘、榎本恵一、小林和彦、吉田勝平(敬称及び役職名略)	
議題:(1)平成15年度RSP事業の活動状況について (2)平成16年度事業計画案について (3)その他	
結論:平成15年度RSP事業活動について代表コーディネータが報告し承認された。育成試験の事業化・技術移転の橋渡し、大学等の研究成果情報調査とそのデータベース・システムの構築状況、企業ニーズの調査状況、次年度向けの育成試験候補課題の抽出、産学交流サロン、技術説明会の開催の報告および、平成15年10月にRSP事業の中間評価があり、その評価内容の報告を行った。次に平成16年度の事業計画を説明し承認された。大学等との連携の強化、研究成果ヒヤリング活動、産学交流サロン、新技術フォーラム、各種産学官連携による諸事業の橋渡し支援等を強力に行い、高知県及び当財団と連携して企業ニーズの発掘とシーズとニーズのマッチングを推進することを説明し、ご理解をいただいた。平成16年度育成試験については2次データベース179課題から、コーディネータが18件まで絞り込み、この18テーマについて、各担当の先生方からこの会議で委員に直接説明して頂き、各委員が検討のうえで実施テーマをご検討頂いた。投票の結果16候補に絞られたので、これらを3月18日の成果育成活用促進会議に提案することとなった。そのほか中間評価の期待される事項への対応とJSTのガイドライン目標数を達成するよう活動する事を表明した。	

No.12	H15年度 平成15年度 第2回 成果育成活用促進会議
開催時期:平成16年3月18日	
開催場所:高知市 オリентホテル高知 (高知市内)	
出席者: ①委員…岡村 甫(議長)、中井貞夫、北添英矩(代理)、山崎義文(代理)、横田善治、関 裕司、鈴木康夫、水野博之、高村宣生、鈴木 朝夫 ②オブザーバー、事務局…JST 山名芳隆、安岡和彦、松村晃充、北添英矩、松岡さゆり(司会)、笹部 馨、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史	
議題:(1)平成15年度RSP事業の活動状況について (2)平成16年度事業計画案について (3)その他	
結論:平成15年度RSP事業の実施状況について、平成15年度育成試験の実施、平成14年度育成試験の成果発表の開催、今までの育成試験成果の事業化・技術移転の橋渡し状況、大学等の研究成果の調査活動、産学交流サロンによる企業への技術説明会の開催、企業ニーズ調査状況、RSP事業中間評価結果等を代表コーディネータが報告し承認された。平成16年度のRSP事業計画について、大学等との連携の強化、訪問活動、技術分野別研究会、産学交流サロンによる説明会、技術フォーラム、各種産学官連携による諸事業の橋渡し支援等を従来にも増して行うことを代表コーディネータが説明し承認された。また、中間評価の結果を踏まえて、企業ニーズ調査を積極的に実施し、財団内の産学コーディネータとの連携を強化することを説明した。去る3月4日に実施した産学連携協議会で16課題に絞りこんだので、本会議は試験候補16課題から、実施テーマを絞り込むための審議を行い、最終的に12課題が選択された。	

No.13	H16 年度 平成 16 年度 第 1 回 産学連携協議会
開催時期:平成 16 年 6 月 8 日	
開催場所:高知市 オリエンツホテル高知 (高知市内)	
出席者: ①委員・・・平木昭夫(委員長)、阿万智治、富永 明、柏原俊規、三木啓、田村光政、秋元厚志、鈴木朝夫、田中拓美、笹部馨 ②オブザーバー、事務局・・・JST山名芳隆、安岡和彦、松村晃充、北添英矩、松岡さゆり(司会)、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史 ③育成試験担当者・・・竹田史章、山本哲也、金哲史、八田章光、井上喜雄、赤松重則、永田信治、谷 俊一、田村愛理、大濱 武、沢村正義、佐藤之紀、大島俊一郎	
議題: (1)平成 15 年度事業活動の報告 (2)平成 15 年度育成試験の成果報告(育成試験担当者より順次) (3)平成 16 年度事業計画の発表 (4)今後の予定その他	
結論:平成 15 年度の事業活動について代表コーディネータが報告し承認された。主として平成 15 年度育成試験の実施、特許出願、技術移転・事業化の橋渡しおよび新技術の調査等の実績報告であった。続いて平成 15 年度育成試験を実施担当者 13 人がその成果を説明し、事業化への橋渡し、技術移転の意気込みを確認した。平成 16 年度に実施予定の育成試験課題が、去る 3 月の本委員会での 16 課題に絞り込まれ成果育成活用促進会議で 12 課題に選定されたことを報告した。平成 16 年度事業として、この 12 課題を育成試験するとともに、大学等の研究者、研究内容、研究成果の調査を引き続き行うこと、研究会、産学交流サロン等を開催して育成試験の成果をPRしコーディネートすること、企業ニーズの取得に注力すること、本年 11 月に平成 15 年度育成試験 12 件の成果を新技術フォーラムで発表する計画を発表した。	

No.14	H16 年度 第 1 回 成果育成活用促進会議
開催時期:平成 16 年 6 月 29 日	
開催場所:高知市 オリエンツホテル高知 (高知市内)	
出席者: ①委員・・・岡村 甫(議長)、北添英矩、相良祐輔、青山英康、中井貞雄、秋元厚志(代理)、上林匠、横田善治、関 裕司、鈴木康夫、北添英矩、鈴木朝夫 ②オブザーバー、事務局・・・JST 山名芳隆、秋元厚志、安岡和彦、松村晃充、北添英矩、松岡さゆり(司会)、田中拓美、広田豊一、松崎武彦、吉本忠男、笹部 馨、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史 ③育成試験担当者・・・竹内彰敏、蝶野成臣、野中弘二、松崎茂展、森澤 純、堀邊英夫、大島俊一郎、豊永昌彦、受田浩之、康 峪梅、吉田勝平、榎本恵一 (敬称略)	
議題: (1)平成 15 年度事業活動の報告 (2)平成 16 年度事業計画の発表 (3)平成 16 年度育成試験内容の発表(育成試験担当者より順次)その他	
結論:平成 15 年度RSP事業活動について、代表コーディネータが報告し承認された。主な内容は、平成 15 年度育成試験の実施、その研究結果を「平成 15 年度育成試験成果集(分冊 1,2,3)」の編纂・発行したこと、技術移転・事業化への橋渡し状況、研究シーズ及び企業開発ニーズの調査と産学交流の実施、平成 15 年度育成試験成果の企業への開示・PRとして「新技術フォーラム」の開催、平成 16 年度育成試験課題の選定、平成 13 年度以降に行った技術移転・事業化への橋渡し等である。なお、これまでRSP育成試験で行った研究成果が技術移転・事業化へ繋がっていないものについては各委員の一層の支援、協力をお願いした。続いて平成 16 年度RSP事業について説明した。平成 16 年度育成試験の実施、国又は県の事業化補助事業への橋渡し、大学等と研究シーズ調査、平成 17 年度育成試験候補課題の抽出、RSP事業成果の企業へのPR、その中で産学交流サロンの実施、新技術フォーラムの開催、財団情報誌へ育成試験の成果の掲載、RSP事業化プロジェクトの推進等であった。最後にこれから実施予定の平成 16 年度育成試験課題 12 課題について、約 3 時間にわたり、その研究内容を担当者が意気込みを込めて発表、質疑応答、活発な意見交換が行われた。	

No.15	H16 年度 第 2 回 産学連携協議会
開催時期:平成 17 年 3 月 8 日	
開催場所:高知市 高知会館 (高知市内)	
出席者: ①委員…平木昭夫(委員長)、阿万智治、佐藤 厚、柏原俊規、三木啓司、林幸男、山崎義文、岡村雅司(代理)、岡本廣光、笹部 馨 ②オブザーバー、事務局…JST 山名芳隆、安岡和彦、松村晃充、山下 智、広田豊一、松崎武彦、吉本忠男、北添英矩、松岡さゆり(司会)、田中拓美、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史 ③育成試験担当者…角 克宏、有賀 修、竹田史章、熊谷靖彦、松元信也、坂本東男、佐藤 厚、横川 明、鶴田 望、遠藤恭範、王 碩玉、土居俊房、向畑恭男、手林慎一、永田信治、山崎慎一、宗景志浩、受田浩之、大嶋俊一郎、塩坪いく子、吉田勝平(敬称及び役職名略)	
議題: (1)平成 16 年度RSP事業の活動状況について (2)平成 17 年度事業計画案について (3)平成 17 年度RSP育成試験候補課題のヒアリングその他	
結論:平成 16 年度高知県RSP事業の実施状況について、代表コーディネータが報告し了承された。主な報告内容は、平成 15 年度育成試験の成果を企業にPRする「新技術フォーラム」を 16 年 11 月に実施したこと、平成 16 年度育成試験 12 件を実施したこと、今までの育成試験成果の橋渡し、技術移転、特許出願などJSTのガイドラインを超える成果を得たことなどである。次に平成 17 年度事業計画の説明を行い了承された。平成 17 年は高知県RSP事業の最終年度に当たるので総仕上げと、事業継承計画を盛り込んだ。企業ニーズに沿う育成試験 12 課題を実施し、活動の具体的な数値ガイドライン(シーズ・ニーズ調査 100 件以上、育成試験実施数 10 件以上、特許出願件数 7 件以上、橋渡し、実用化・商品化件数 5 件以上)を挙げ、事業を推進する。RSP事業活動を当財団の振興課等に引き継ぎ、今まで行った育成試験を事業化開発につなげ、ポストRSP事業として発展させる旨、代表コーディネータが説明した。また、JSTの補助事業「シーズ育成試験」他に応募し、事業を展開させる。更に、新技術の育成と事業化への橋渡しを行うため、公開報告書を編纂発行し、育成成果を企業にPRする「新技術フォーラム」を実施する予定である。平成 17 年度育成候補課題 22 件を各研究担当者から発表していただき、委員による選択票を提出していただき、16 課題に絞られた。この後、成果育成活用促進会議に諮ることとなった。	

No.16	H16 年度 第 2 回 成果育成活用促進会議
開催時期:平成 17 年 3 月 18 日	
開催場所:高知市 高知会館 (高知市内)	
出席者: ①委員…岡村 甫(議長)、尾崎登喜雄(代理)、佐藤 厚(代理)、永橋優純(代理)、横田善治、関裕司、鈴木康夫、北添英矩 ②オブザーバー、事務局…JST 山名芳隆、松村晃充、山下 智、滝口宏人、松崎武彦、吉本忠男、岡本廣光(司会)、笹部 馨、都築俊夫、久武陸夫、石塚悟史 ③育成試験担当者…吉田勝平、島崎一彦、大嶋俊一郎、受田浩之、向畑恭男、松元信也、鶴田 望、有賀 修、横川 明、永田信治、熊谷 靖彦、王 碩玉、竹田史章、佐藤 厚、遠藤恭範、塩坪いく子、土居俊房、山崎 慎一(敬称略)	
議題: 平成 16 年度 RSP 事業の活動状況について (2)平成 17 年度事業計画について (3)その他	
結論:平成 16 年度RSP事業における実施結果を代表コーディネータが報告し承認された。平成 16 年度育成試験の実施、平成 15 年度育成試験の成果発表の開催、平成16年度の事業化・技術移転の橋渡し状況、大学等の研究シーズの調査活動、産学交流サロンによる企業への技術説明会の開催、企業ニーズ調査状況等である。次に平成17年度は、高知RSP事業の最終年度であるので、5か年の事業総括を行うこと、大学等の研究成果を育成して新技術を産業振興に活かす活動を当財団の振興課等に引き継ぎ、今まで行った育成試験を事業化開発につなげて、ポストRSP事業として発展させる考えを説明した。平成17年度の育成試験として、去る 3 月 8 日の産学連携協議会で絞った 16 課題について研究担当者より委員に説明し、実施テーマ選定の	

ための審議を頂き、最終的に 12 課題が選択された。大学等の研究シーズの調査及び企業ニーズの収集については、「連携拠点」を高知工科大学連携研究センター、高知大学地域共同研究センターに置いてRSP事業を継承していく。今後、5カ年間の事業結果報告書を作成し、本事業を総括し、最終評価に臨む。また、企業を対象にした育成試験成果報告会(新技術フェア)を平成 18 年 3 月頃実施する。

No.17	H17 年度 第 1 回 成果育成活用促進会議・産学連携協議会 合同会議
開催時期:平成 17 年 6 月 15 日	
開催場所:高知市 ウェルサンピア高知	
出席者: ①委員・・・岡村 甫(議長)、藤田正憲(新)、鈴木康夫、北添英矩、鈴木朝夫、平木昭夫、受田浩之(新)、金川 靖、中村裕之(新)、佐藤 厚、柏原俊規、西内 豊(新)、北村明久(新)、池 典泰(新)、西本昌弘(新)、溝渕良一(新)、笹部馨 ②オブザーバー、事務局・・・JST 岡本収司、松村晃充、広田豊一、吉本忠男、松崎武彦、北添英矩、岡本廣光、都築俊夫、久武陸夫、入野和朗(司会)(敬称及び役職名略)	
議題: (1)平成 17 年度事業計画について (2)RSP事業の将来展開について (3)平成 16 年度までの活動についてその他	
結論:今回は成果育成活用促進会議と産学連携協議会を合同で行った。まず、平成 17 年度RSP事業計画を先に代表コーディネータより報告し承認された。主な計画内容は研究成果約 220 課題からコーディネータが 22 課題を抽出し、産学連携協議会委員により 16 課題に絞り、成果育成活用促進会議によって 12 課題が選定され、最終JST様のご承認を頂いたこととこの選定協力に感謝を述べた。この 12 課題の具体的内容をコーディネータが説明した。本年は本事業の最終年度のため、平成 16、17 年度分の新技術フェアを平成 18 年 3 月に実施する計画と、平成 17 年度育成試験成果集を平成 18 年 3 月に繰り上げ編纂発行することと、当財団振興課へ本事業を継承することなどを代表コーディネータが説明した。また、「シーズ育成試験」発足、サテライト高知の設置が決定された事を紹介した。委員から「シーズ育成試験」への積極的応募支援、応募課題について高知県コーディネータ会議(仮称)で調整してはどうかとの話があった。今までRSP活動で発掘した多くの事業化課題のデータベースを活用すること、また新たな研究成果が生まれ、今後、逐次事業化への支援と橋渡し、技術移転や起業化、特許出願等の支援等の活動を事業継承する事を説明した。ポストRSP事業として、両新事業に対応するため、本会議を継承する新会議設置の提案があり、次回に討議することとなった。続いて平成 16 年度の活動報告に際し、平木委員より、平成 13 年当時の本事業の誘致に関するお話しを伺った。代表コーディネータより、平成 13 年度から現在までの事業成果の総括として、シーズ・ニーズ調査、この内事業化課題、他事業への橋渡し、商品化・実用化、起業化、特許出願について、また、H13～16 年度の成果集発行、新技術フェア、産学交流サロン実施、育成試験の成果を当財団情報誌連載しPRしたことの報告があった。代表的な育成試験課題の技術移転例について紹介した。最後に、本事業の5ヶ年間の成果として研究者ネットワークの拡大とデータベースの構築、産学官協力体制の構築、コーディネータの育成、補助事業の応募情報発信、研究者の特許出願への関心を高めたこと、及び地域結集共同研究事業およびサテライト事業の誘致に加えて、国の新施策情報入手に価値観を持つようになったことを事を述べた。	

No.18	H17 年度 第 2 回 成果育成活用促進会議・産学連携協議会 合同会議
開催時期:平成 18 年 3 月 27 日	
開催場所:高知市 ウェルサンピア高知	
出席者: ①委員・・・岡村 甫(議長:高知工科大学学長)、鈴木康夫(高知県工業会長)、北添英矩(当財団理事長)、鈴木朝夫(当財団プロジェクトマネージャ)、平木昭夫(高知工科大学教授)、中村裕之(高知大学教授)、柏原俊規(高知高専教授)、西内 豊(県工業技術センター所長)、北村明久(県深層水研究所長)、池 典	

泰(県立紙産業技術センター所長)、西本昌弘(県産業技術委員会委員長)、溝淵良一(県小商工労働部副部長)、笹部馨 ②オブザーバー、事務局・・・JST岡本収司、松村晃充、松崎武彦、都築俊夫(司会)、久武陸夫、入野和朗(敬称及び役職名略)

議題:1. RSP事業の総括<平成 13~17 年度> 2. RSP事業の将来展開について 3. その他、各委員から本事業に寄せる言葉

結論:今回は最終の成果育成活用促進会議と産学連携協議会であって、両会議を合同で行った。

当財団理事長 北添英矩の開会挨拶に続いて、JST岡本収司様のご挨拶を頂いた。岡本様から、来年度から始まる新しい JST イノベーション事業(4月3日から募集開始)を併せてご紹介いただいた。

参考用添付資料として、「地域イノベーション創出総合支援事業」JST資料、「育成試験成果概要集ー平成 13 年度~平成 17 年度育成試験ー」、平成 13 年度~平成 17 年度育成試験の「育成試験成果集」、-詳細分野別(分冊 1~3)- <3 冊組み>の総目次、「育成試験全課題の技術移転一覧表」、「高知県の RSP 事業」(橋渡しの代表例;科学技術コーディネータ会議資料)、RSP 成果集-(平成 11 年度~平成 17 年度)JST 編纂発行、「高知 COE 構想」(平成 18 年 4 月開始)、「JST サテライト高知」(平成 17 年 10 月開館)、「重点地域研究開発促進事業」JST パンフレットを配付した。

当会議規約に則り、北添理事長が本会議の議長として岡村甫委員を指名し、以下の議事が進行された。

(1) RSP事業の総括<平成 13~17 年度>

配付資料とパワーポイントを使用して、笹部代表が平成 13 年度以降 5 ヶ年間の事業成果を発表した。発掘研究シーズは 1594 件、これより抽出した事業化課題が 308 件、この内育成試験を行った課題が 58 件であった。他事業への橋渡し 88 件、実用化 9 件、商品化 5 件、起業は 6 社、特許出願は 92 件を報告した。大学のシーズオリエンテッド研究は先進的・先端的なものが多く、ニーズオリエンテッド研究が地域貢献の早道であることの実例を示した。育成試験実施済み 58 課題の代表的な成果(商品化例、橋渡し例など)をパネル展示し、逐次コーディネータが説明した。配付した「育成試験成果概要集ー平成 13 年度~平成 17 年度育成試験ー」は全 58 課題すべてを 1 課題 2 ページの色刷りで編集したもので、大学等の研究者と研究課題が分るので、企業の技術者も先生に開発ニーズを示して研究依頼するようにお話をした。

(2) RSP事業の将来展開について

昨年発足した「JST サテライト高知」と地域結集共同研究事業から生まれた「高知 COE」がポスト RSP 事業の担い手として、本事業は拡大発展して継続されることを説明した。これらの基盤が整備されたことによって、RSP 事業の成果が、今後行われる数々の募集事業「シーズ発掘試験」「地域研究開発資源活用促進プログラム」などへの提案応募に活かされる筋道ができた。こうして高知県が新技術研究開発の集積地として発展することをお話した。大学等は地域貢献という新しい価値観をもって、また高い開発レベルをもっており、大学側は地域の企業が要望する大抵の開発ニーズに応じることが出来ることも話した。

(3) その他

終わりに議長の提案により、各委員が順に本事業等に関する感想を述べた。高知大学、高知女子大学、高知高専から地域貢献のための連携センターを改組、強化中であり、本事業の成果を活かして行きたいとのお話があった。県の公設研究機関から、RSP 育成試験に採択され支援して頂いたことが若い研究員の励みになり、成果も出たとお話をいただいた。産業界からは工学系の学科のなかった高知に、高知工科大学を創設する当初のお話や、ここまで来た感慨もお伺いした。委員の中に県とともに RSP 事業を誘致した頃のお話もあった。最後に代表コーディネータが平成 13 年度に手探りで始めた本事業が、JST 様のご指導と両委員会委員及び関係者のご協力により、発展的に JST サテライト高知、高知 COE に繋げるところまで来れたことに深く感謝申し上げた。